

令和4年度高総体コロナウイルス対応等について

岩手県高体連ラグビー専門部

1. 基本的な考え方

部活動（大会参加）は、十分な感染症対策を行った上で、生徒の健康・安全の確保のために内容や方法を工夫しながら実施する。

- （ア）部活動（大会参加）は、生徒本人と保護者の意向を尊重して、参加を強制しないこと。
- （イ）教員は、参加する生徒の健康状態を把握し、生徒の体調管理を徹底させること。
- （ウ）引率教員・外部コーチはチーム状況や大会留意事項を理解しておくこと。

2. コロナウイルス対応（選手・指導者）について

- （ア）事前に健康チェックシート（チーム用）を入手し、試合当日の健康チェックを行う。
- （イ）健康チェックシート（チーム用）を受付に提出する。
 - ※生徒引率顧問以外の役員は、健康チェックシート（役員用）を提出する。
- （ウ）各チームで手指消毒・うがい等を徹底する。
 - ※バスの乗車時や宿泊施設での消毒液等は各校で用意する。
- （エ）会場入場時は選手・指導者・スタッフは、原則、マスクを着用する。
- （オ）試合開始直前のマウスガードチェック時に手指消毒する。
- （カ）ボトル等を他の選手と共有しない。（ウォーター担当もラテックスグローブ等を着用する）
- （キ）セーフティーアシスタントはラテックスグローブ等を活用する。

3. コロナウイルス対応（保護者・応援・外部団体）について

- （ア）原則、無観客とする。
 - 保護者等に限り入場可能とする。
 - 保護者等の定義→両親、兄弟、祖父母（生徒個票に記載されている方が基本）
 - 各校で事前に健康チェックシート（保護者用）を保護者等に配布し当日持参してもらう。
 - また、保護者等へマスクの着用、ソーシャルディスタンスに配慮等事前連絡する。
- （イ）応援については太鼓・メガホン等を使用した応援行為、大声での応援行為を禁ずる。
- （ウ）マスコミ・学校取材関係については本部受付後、ビブス着用を義務づける。
 - （岩手県以外のマスコミ関係者については、取材制限もあり得る）

4. 大会運営について

- （ア）運営役員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。なお、昼食時は特に細心の注意を払う。
- （イ）大会本部は密集を避ける工夫を施し、パソコンやアナウンスマイク等は使用者が代わる度に消毒する。
- （ウ）大会にドクター・救急救命士の常駐をお願いする。ケガ等で受診する際は、緊急時や試合中を除いてマスク着用、ジャージは着替えて、汗を拭き、手足などはアルコール消毒する。発熱患者は原則受診できない。発熱や体調不良など感染が疑われる人が出た場合は検温を行い、疑いがあるようであれば保健所

の電話相談窓口に連絡して指示を受ける。当該チームで速やかに対応する。選手の場合は、保護者に連絡の上、保護者同伴で対応するように努めること。

- (エ) 審判員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。熱中症予防のため、審判員やA R 1、2、3にはマスク着用を義務づけない。また、使用したレシーバー等は消毒を徹底すること。
- (オ) 使用したボールやベンチ等の消毒を行う。
- (カ) 補助員生徒はマスクを着用すること。

5. 会場の使用について

すべての入場者は健康チェックシートを受付に提出する。

- ・各校顧問は、事前に配布された健康チェックシート（チーム用）に選手・スタッフ全員の名前等を記載し、受付に提出する。
- ・各校の保護者等は事前に配布された健康チェックシート（保護者用）に名前等を記載し、受付に提出する。
- ・生徒引率を伴わない教員、レフリー、ドクター等は入場時に健康チェックシート（役員用）を受付に提出する。
- ・協会関係者は入場時に健康チェックシート（役員用）を受付に提出する。
- ・報道関係者は入場時に健康チェックシート（役員用）を受付に提出する。また、ビブス着用を義務づける。（本部で受領）
- ・各校アルバム業者やチーム専属のカメラ担当者は2名まで入場を認める。入場時に健康チェックシート（役員用）に記入し、受付に提出する。また、ビブス着用を義務づける。（本部で受領）

※「R4 高総体試合会場図」で受付場所、受付方法、選手・役員入口、保護者入口等を確認し、選手・保護者等に周知しておくこと。

6. 大会期間中に感染者又は濃厚接触者等が確認された場合の対応について

大会開催期間中に関係者（選手、監督、役員、施設職員等）に感染又は濃厚接触者が確認された場合、高体連事務局及び競技会場を所管する保健所と連携し、大会開催・継続・中止・延期については、関係機関と連携し当専門部が判断する。

(ア) 体調不良者・発熱者（37.5℃）がでた場合

- ・診察結果が判明するまで該当者を除く学校関係者は、体調管理をしながら参加できる。

(イ) 接触者の可能性があると判明した場合

- ・疑われる者の学校関係者は、出場を取りやめ保健所の指示を受ける。

以下（ア）（イ）共通

- ・PCR検査を受検することになった場合、その学校関係者は大会出場を取りやめ、帰校又は待機する。
- ・陰性の場合、大会に出場できるが、既に予定していた試合が終了していた場合は不戦敗・棄権となる。
- ・陽性の場合、競技大会を中断し関係機関とその後の対応を協議する。

(ウ) 濃厚接触者であることが判明した場合

- ・濃厚接触者については、保健所の指示を受ける。
- ・競技大会を中断し、関係機関とその後の対応を協議する。

(エ) 中止・中断となった場合の東北大会への代表等については当専門部で協議し決定する。